

## 平成23年度 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院 決算概要

## 1 財務諸表の概要

## (1)貸借対照表

平成24年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	18.5 億円	固定負債	24.5 億円
土地	6.5 億円	流動負債	7.2 億円
建物	7.5 億円		
流動資産	37.5 億円	【純資産の部】	
現金及び預金	30.7 億円	資本金	24.9 億円
		資本剰余金	4.6 億円
		繰越欠損金	▲ 5.2 億円
計	55.9 億円	計	55.9 億円

## (2)損益計算書

平成23年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純損失を表示

収益総額	41.9 億円
営業収益	41.4 億円
営業外収益	0.5 億円
費用総額	44.8 億円
営業費用	43.6 億円
営業外費用	1.2 億円
臨時損失	0.007 億円
当期純損失	▲ 2.9 億円
* 当期の総損失は、次期繰越欠損金として処分する。	

## (3)キャッシュ・フロー計算書

平成23年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	0.9 億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 0.2 億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1.0 億円
IV 資金減少額	▲ 0.3 億円
V 資金期首残高	6.1 億円
VI 資金期末残高	5.7 億円

## (4)行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	11.1 億円
(1)損益計算書上の費用	44.8 億円
(2)自己収入等(控除)	▲ 33.7 億円
II 機会費用	0.3 億円
III 行政サービス実施コスト	11.4 億円

## 2 収支の状況

### (1) 収支概要

平成23年度純損失……………▲294,155千円 →▲65,177千円(対前年度差額)  
 (平成22年度純損失……………▲228,978千円)

- ・収益については、外来診療単価が増加したものの、入院・外来患者数の減少から前年度比で約4%減少となった。
- ・費用については、経費が増加しているものの、給与費や材料費の減少により約2%減少となった。
- ・収支差については、平成22年度と比べ赤字額が増加し約2.9億円となった。

### (2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H22年度	H23年度	H23-H22	対前年度比	参 考
収益	43.5	41.9	▲ 1.6	96%	診療単価 (H22) (H23)
営業収益	42.9	41.4	▲ 1.5	97%	入院 38,458円 → 37,730円
うち入院収益	24.6	23.1	▲ 1.5	94%	外来 10,302円 → 10,844円
うち外来収益	8.9	8.9	0.0	100%	
うち運営費負担金	7.5	7.6	0.1	101%	患者数 (H22) (H23)
営業外収益	0.5	0.5	0.0	100%	入院 63,884人 → 61,168人
うち運営費負担金	0.3	0.3	0.0	100%	外来 86,477人 → 82,152人
臨時利益	0.0	0.0	0.0	-	
費用	45.8	44.8	▲ 1.0	98%	一般病床利用率 (H22) (H23)
営業費用	44.4	43.6	▲ 0.8	98%	53.9% → 51.4%
うち給与費	25.4	24.7	▲ 0.7	97%	
うち材料費	7.5	7.1	▲ 0.4	95%	
うち経費	8.7	8.9	0.2	102%	
うち減価償却費	2.7	2.8	0.1	104%	
営業外費用	1.4	1.2	▲ 0.2	86%	
臨時損失	0.0	0.007	0.007	皆増	
収支差	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 0.6	-	

### (3) 前年度比収支変動の主な要因

#### ア 営業収益

うち入院収益 (1.5億円減) 診療単価・患者数の減少によるもの

#### イ 営業費用

うち給与費 (0.7億円減) 人件費の会計処理変更によるもの

うち材料費 (0.4億円減) 医業収益の減少によるもの

うち経費 (0.2億円増) 産婦人科応援医師経費の増加によるもの